

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和7年11月4日		～ 令和7年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和7年11月6日		～ 令和7年11月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和7年11月4日		～ 令和7年11月29日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先施設の先生方が訪問支援について理解してくださり、訪問時以外にも情報を共有、交換させて頂いている関係性が醸成できている。	訪問支援日以外も園の先生方と成長の様子を共有できるよう努めています。今年度も先生方を当施設(こども生活館おひさま)にお招きし、じっくり情報交換を行う場を設けています。	お子様のこと、支援のこと、たくさんお話をさせていただきながら今後もより良い支援を行ってまいります。
2	付近に学校や園が多くあり、地域に寄り添った支援を継続して行っている。	地域密着型の事業所として、お子様の状況に合わせた迅速な対応ができるよう、各園・学校との連携手順を明確にしています。ご家族・訪問先・当事業所の三者が、お子様を中心に据えた「一つのチーム」として、密に協力し合える体制を整えています。	今後も訪問先施設の方針に合わせた訪問支援を実施していきます。
3	星ヶ峯地域外でも、訪問を受け入れて下さる施設が増えてきている。	お子様やご家族のニーズに応じ、保育所等訪問支援をご提案しています。ご利用前から集団生活での困りごとを丁寧に把握し、園や学校と「お子様を中心とした子育てを考え実行する一つのチーム」として対話を重ねることで、一貫したサポート体制を築きます。	保育所等訪問支援事業について、積極的に発信し、より深くご理解いただけるよう努めています。初めての方でも安心して利用できるような体制づくりに取り組みます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	-	-	-

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 子ども生活館おひさま

公表日 令和8年2月20日

利用児童数 令和7年11月30日 11名

回収数 11名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	10			1		直接の教材提供に代わり、園や学校の環境に合わせた「手作り教材」のアイデアや工夫を積極的にお伝えしています。先生方が日々の保育・教育の中で実践しやすい具体的なヒントを共有し、支援の幅を広げるお手伝いを行うように努めています。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	10		1			面談の際には保護者の皆様に安心していただけるよう、相談室を設けております。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	11					契約を行う際は、訪問の目的や内容について保護者の皆様と訪問先へ直接お伝えさせていただいております。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	11					保護者様からのご相談に基づき、お子様にとって最も効果的なタイミングで訪問できるよう、園や学校と丁寧に日程を調整しています。一人ひとりの状況に合わせた最適な支援の実施に努めています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	10	1				初回訪問時には児童発達支援管理責任者も同席し、適切なアセスメントに基づき継続した支援を行っています。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	10	1				訪問支援員は、常に質の高いサポートを提供できるよう、法人内外の研修に積極的に参加しています。最新の専門知識を習得し、支援技術のさらなる向上に日々励んでいます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	11					こどもや保護者の想いを聞かせて頂く中で課題の抽出を行い、職員間でも十分にカンファレンスを行いながら個別支援計画の作成を行っています。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	11					計画作成の際には訪問先施設や担任の先生方の意向も取り入れながら作成しています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	10	1				本人支援や家族支援、地域連携や移行支援について、本人、保護者、先生方と一緒に歩むことのできるガイドラインに沿った支援を計画しています。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	10	1				個別化された支援計画書を作成し、一人ひとりに合わせた支援内容で提供をさせていただいております。
11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	11					園や学校の先生方と密に連携し、行事や集団活動の予定に合わせた最適な訪問日時を調整しています。その時々々の活動内容をふまえ、お子様に最も適した支援方法を検討・決定しています。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11						運営規程、利用者負担等について契約書に沿って説明をさせて頂いています。ご不明な点はいつでもお問い合わせいただけるようにしております。
13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11						個別支援計画は保護者やご本人の思いを取り入れ、訪問先の先生方とカンファレンスを重ねながら作成させていただいております。
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11						1年に1クール（全6回）、5月～7月頃ペアレントプログラムを実施しています
15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	11						保護者の方と発達状況についての共通理解を図り、一緒に成長を見守り、適切な支援を行うことができるようにしています。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11				定期的な面談を通して、こどもの育ちについて共通理解を持てるよう取り組んでいます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11				職員はこどもの育ちや思いを第一に考え、保護者の皆様やこどもに寄り添った支援を行っています。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1			保護者の方から相談があった場合、また訪問先施設からの申し出があった場合は丁寧な連携を図り、訪問支援を実施できるようにしています。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1			保育所等訪問支援を行った際にはお子様に直接的な支援を行っています。またその様子や状況について保護者の皆様と共有できるようご連絡をさせて頂いております。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	11				訪問先施設からのご相談があった際には、その施設で取り入れやすい支援についてのご提案をさせて頂いております。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	11				支援を行った後に訪問先施設の先生方と情報の共有を行います。個別支援計画に基づいて、一緒に振り返る時間を頂いております。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	11				訪問を行った際に訪問先施設職員と話をさせて頂いた内容、また、お子様の様子や実施した支援内容について保護者の皆様と共有をさせて頂いております。
	非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	1		
24		個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11				法人の個人情報保護規定を基に厳重に管理し、職員は研修を毎年度受講し研鑽しています。安心して利用して頂けるよう引き続き留意して参ります。
25		事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	11				訪問先施設と連携ができるような体制をとっております。緊急時にすぐ連絡を行えるようにしています。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11				年2回行われる家族会で必ず安全計画等の説明をさせて頂いています。また事業所にも掲示・閲覧用のご準備がしてありますので是非ご覧ください。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	10	1			1人ひとりの様子や園や学校の状況に合わせて自然な形で訪問し、普段通り集団の場で過ごすことができるよう配慮をしております。
	28	事業所の支援に満足していますか。	11				今後も、皆さまが安心してご利用することができるよう、職員も知識と技術を高めながら引き続き支援を行ってまいります。

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
こども生活館おひさま		令和8年2月20日				
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	6				集団生活の中での課題に合わせ、先生方やご本人が取り入れやすい支援の方法を提案させていただきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	6				様々なニーズに合わせた発達支援の方法を提案できるよう、経験、研修を重ねスキルアップできるように励んでおります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	6				ご本人、保護者様、そして先生方の想いを尊重し、お子様の成長段階や活動場面に合わせた最適な支援方法をご提案しています。関係機関との緊密な連携により、場所を問わず一貫したサポートが受けられる体制を整えています。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	6				ご本人、保護者様、そして先生方と一緒に個別支援計画書を作成し、小さな成長を共に感じられるような取り組みを大切に支援を今後も継続して行って参ります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	6				各施設の理念や教育方針を尊重し、その場の環境に最適化した支援を行っています。現場の先生方が日々の活動の中で無理なく継続できる、実践的で取り入れやすい支援方法をご提案いたします。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・ 専門の方に助言や支援などを教えて頂き、来て下さるので良かったです。今後もよろしくをお願いします。</p> <p>・ いつもご丁寧に様子をお伝えして頂いたり、頻繁に保育所等訪問に来て下さったりしてくれているので細かい点まで共有できて助かっています。いつもありがとうございます。</p> <p>・ 公文（訪問日時等の調整に関する依頼文）などお手数をかけていますが、こんなに丁寧に訪問を行って頂いたり、こどものことを一緒に考えて共有できることがありがたいです。これからも連携をたくさん図らせていただきたいと思います。よろしくをお願いします。</p>					<p>日頃より訪問支援への多大なるご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。私たちは、集団生活の中で実践できる「個々に応じた支援」を提案し、お子様がどこにいても自分らしく過ごせる環境づくりを目指しています。今後も先生方と想いを共有し、共に手を取り合って、より良い支援を追求してまいります。</p>	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		こども生活館おひさま		公表日		令和8年2月20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点など	課題や改善すべき点	
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		現在は訪問先施設にある教材を活かし、提案できるようにしています。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童発達支援管理責任者、保育所等訪問支援員で訪問を実施しております。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		保育所等訪問支援実施後には児童発達支援管理責任者や職員と振り返りを行い、よりよい支援に繋げられるようにしています。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の皆様からの意見を基に訪問支援を行っています。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的話し合いを行っております。保育所等訪問支援実施前後には、個別支援計画に基づいた目標やニーズの振り返りを行っています。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価の実施には至っていません。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部、外部研修共に積極的に参加をさせて頂いております。今後も専門知識を高め、充実した支援へ繋がっていきます。		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		ご本人、ご家族の方々と面談を行い、課題について共通理解を図っています。また訪問先施設の先生方とのアセスメントも踏まえ、個別支援計画を作成しています。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		保育所等訪問支援に携わる職員全員でカンファレンスを行い、検討を重ね支援計画を作成しております。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問先の先生方と密に連携し、保護者様の想いや「お子様の伸ばしたい力」について共通認識を深めています。それらを具体的な目標として反映させ、三者が一体となって取り組める一貫した支援計画を作成しています。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		保育所等訪問支援計画書を作成する段階から、訪問支援員も携わり、訪問前後のミーティング等で、計画書も合わせながら打合せをしております。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールを用いた、フォーマルなアセスメントと日々の行動からのアセスメントを合わせて、お子様の成長段階の把握を行い、必要な支援を計画しています。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		訪問先施設の状況なども踏まえ、先生方の思いや施設全体の理念も大切にしながら、環境に合わせた支援内容を設定しています。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		保育所等訪問支援計画を作成する段階から、複数の職員が携わり、共有した計画に沿った支援を行っています。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		訪問日が決定した際には、職員間で最新のお子様の様子や課題についての情報を改めて共有しています。事業所内での支援内容を訪問先での関わりに確実に繋げ、一貫性のある質の高いサポートを提供できるよう努めています。		

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		当日の支援を振り返り、お子様の様子や今後の関わり方、訪問施設の現在の方向性や取り組みについて共有しています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先施設の理念や支援方法を第一に考え、それに合わせた手段や支援内容の提案をさせて頂いております。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		支援内容や先生とのやり取りは必ず記録し、支援計画や目標設定に活かしています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に行うモニタリングを通して、必要に応じて計画書の見直し、更新をしています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者と訪問支援員で参加し、関係機関との連携を大切にしています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		お子様が、どの場所でも安心して過ごすことができるよう関係機関との連携を図ることは大切にしております。また必要に応じてこちらから医療機関などの関係機関へ繋ぐ提案をしています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援シートを用いて共有できるよう取り組んでいます。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		内部研修、外部研修にも積極的に参加し、知識向上を目指しています。eラーニングの受講も行っています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		法人職員が自立支援協議会・子ども部会・児童発達支援センター会議等に参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		こどもの様子について保護者の皆様と共有しながら、「伸ばしたい力」について共通理解を図ることができるよう取り組んでいます。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		定期的に行っています。ペアレントプログラムは年1クール全6回(5月～7月ごろ)開催しています。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や変更があった時など必要に応じてご説明をさせて頂いております。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問先に対し、まずは事業の目的(施設との共創)を周知した上で、個別支援計画に沿って『なぜこの場面で支援が必要か』という具体的な根拠と目的を説明し、合意を得た上で実施しています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者の方とお話をさせて頂く機会を設け、こどもやご家族の意向や思いを確認させて頂いております。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		同意を得た上で支援を実施しております。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者の皆様にはお気軽にご相談いただけるよう、随時面談を実施し必要な助言と支援を行っております。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		家族同士の交流の場としての「おひさまカフェ」等を開催しております。きょうだい児の皆様も一緒に交流できる機会としてご用意しております。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申入れがあった際には、迅速に適切な対応ができるようにしています。	
34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		おたよりやインスタグラム、ホームページなどで活動の様子やお知らせを定期的に発信しております。		

	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人の個人情報保護規程に基づき厳重な管理を行っております。職員は、個人情報の取り扱いについて研修を定期的を受講しています。ご家族への説明は、契約時や家族会の際説明し同意をいただいております。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様やご家族の状況に合わせて、対応しております。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		ご相談いただいた際には、訪問先施設の理念や先生方の想いに寄り添いながら体制を整え、お話をいただいております。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問支援実施後は、先生方と活動の振り返り、具体的支援内容も含めたカンファレンスを実施しています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問支援施設とのカンファレンス内容や、訪問支援時に行った直接的支援内容などをお伝えしています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人の個人情報保護規程に基づき厳重な管理を行っております。職員は、個人情報の取り扱いについて研修を定期的を受講しています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		『おひさまの人に相談してみよう』と思って頂けるような関係性を目指しています。子どもも先生も楽しく安心して過ごせる訪問支援を実施していきたいと思っています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年に2回家族会を実施し、事故防止、緊急対応、防犯、感染症などのマニュアルについて御説明をさせて頂いています。事業所に掲示もしています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、毎月の職員研修で意識を高められるようにしています。定期的な見直しも行っていきます。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが起きた際は職員間で振り返り、環境や職員配置、支援方法などの見直しを行っています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内研修、外部研修や事業所内研修も行いながら、職員が意識を高め、互いに適切な対応について考えていくことができるよう取り組んでおります。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		現在必要とする対象児童はおりません。職員は、身体拘束についての研修を受講し、一人ひとりが知識を持って支援を行っています。	